

防災基礎力調査票

以下は、あなたの防災についてのお考えを伺うものです。
あなたのお考えに最も近いものを「あてはまる」～「あてはまらない」から、ひとつ選んでください。

	あてはまらない	あてはまり	あてはまる	あてはまる
1 ハザードマップをもとに、災害時にどこが危険な場所か言える。	1	2	3	4
2 私の地域の周辺で、危険な河川や急傾斜地がどこにあるか知っている。	1	2	3	4
3 地震が起こると、多くの建物が倒れる恐れのある地区がどこか知っている。	1	2	3	4
4 復興まちづくりの主役は住民である。	1	2	3	4
5 平時の地域づくりは、災害後の復興にも役立つ。	1	2	3	4
6 復興期には心身の健康を損ないやすい。	1	2	3	4
7 家族や知人と災害の危険性について話し合っている。	1	2	3	4
8 災害が起こったときにどうするか、家族や身近な人と話し合っている。	1	2	3	4
9 災害が起こった時の連絡手段を、家族や知人と確認している。	1	2	3	4
10 災害対策には、お金をかけている。	1	2	3	4
11 避難生活中を想定して空き巣対策をしている。	1	2	3	4
12 今加入している保険（共済）があれば、生活を立て直すには十分だと思う。	1	2	3	4
13 非常用持ち出し袋を準備している。	1	2	3	4
14 普段から、飲料水や非常食などを備蓄している。	1	2	3	4
15 災害が起こったときに備えて、自分の生活機能のために必要なもの（常用薬、衛生用品、アレルギー食等其他生活に必要なもの）を余分に準備している。	1	2	3	4
16 災害時、避難するかしないかの判断が適切にできる。	1	2	3	4
17 地震が起こったとき、命を守る行動を、とっさにとれる。	1	2	3	4
18 災害が発生したとき、または発生しそうなとき、スムーズに避難できる。	1	2	3	4
19 地域を復興させるための活動には積極的に関わりたい。	1	2	3	4
20 避難所では、まわりの人と積極的にあいさつしようと思う。	1	2	3	4
21 避難所では、いろいろな役割を担ってみたい。	1	2	3	4
22 災害後の生活の変化に、適応することができる。	1	2	3	4
23 災害後に地域の町並みが変わることは受け入れられる。	1	2	3	4
24 災害後、別の地域でも生活を立て直すことができる。	1	2	3	4

採点してみよう！

知識		そなえ			行動		
被災することの知識	被災を乗り越えるための知識	災害についての身近な人との話し合い	金銭面から災害を捉える力	生活必需品のそなえ	安全確保への主体的判断	地元の立ち直りへの主体的関与	災害が生み出す変化への適応力
1～3の得点	4～6の得点	7～9の得点	10～12の得点	13～15の得点	16～18の得点	19～21の得点	22～24の得点
/12	/12	/12	/12	/12	/12	/12	/12
A		B			C		
/24		/36			/36		

合計
1～24の得点
/96
96点満点

A + B + C

80点以上

すばらしい防災基礎力です！

ぜひ、周りの人にも防災基礎力とその大切さを広めてください！

60～79点

防災マスターまであと一步！

いつ来るかわからないけど、いつか必ず来る災害にそなえて、引き続きがんばろう！

40～59点

あなたの防災基礎力は

できるところから
コツコツ積み重ねましょう！

39点以下

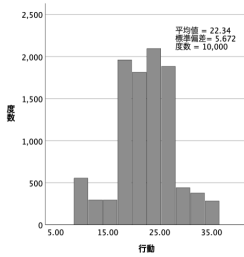
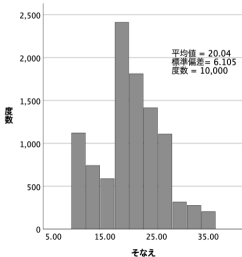
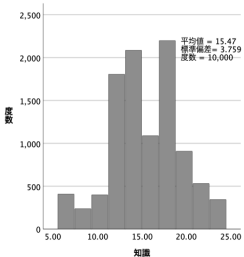
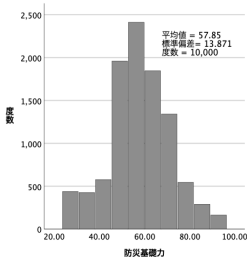
災害から身を守るには、
知識、そなえ、行動の3つが大事！

弱点をみつけて克服しよう！

防災基礎力尺度(DRSi: Disaster Resilience Scale for Individuals)とは

- 防災基礎力尺度(DRSi)とは、災害を乗り越える力（災害レジリエンス）を個人レベルで総合的に評価する尺度です。
- 特徴は以下の通りです。
 - ・ 防災の知識(knowledge)やそなえ(Readiness) の水準だけでなく、具体的な行動(Action)を行えるかどうかにも評価しています。
 - ・ 事前の備え(Preparedness)や対応(Response)だけではなく、その後の生活再建(Recovery)の能力も評価しています。
- 学校・地域での防災教育や防災活動プログラムの評価に活用できます。
 - ・ 但し、本尺度は総合的な尺度であり、単独のプログラムにおいて全ての尺度の値が改善することはもとより期待すべきではありません。そのプログラムが向上させようとする力を明確にした上で、その効果の評価に用いることが望まれます。
- 地域に居住する人々の防災基礎力尺度が高いことは、地域としてのレジリエンスが高いことを必ずしも意味していません。
 - ・ 防災基礎力尺度は、あくまで個人レベルの評価尺度です。防災基礎力尺度の高い人々の多いことはそれ自体は望ましいことですが、地域として災害を乗り越える力が備わっているかどうかは本尺度では評価できません。

参考：全国10,000人を対象とした調査結果



2021年12月4日～6日における全国10000人に対するWEBアンケートの調査結果

平均年齢 = 50.92 最小年齢 = 18
標準偏差 = 16.586 最大年齢 = 99

関連文献：

Matsukawa, A., S. Nagamatsu, R. Ohtsuka, and H. Hayashi (2024) Disaster Resilience Scale for individuals: A fundamental requirement for a disaster-resilient society, International Journal of Disaster Risk Reduction, Vol. 107, 104405.

防災基礎力尺度ウェブアプリはこちら

